

## 塩竈市魚市場の水揚げ状況と新魚市場整備事業等の状況について

## 1. 平成 21～25 年 塩竈市魚市場水揚げ推移 (単位 数量：トン 金額：千円)

区分	平成21年		平成22年		平成23年		平成24年		平成25年	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
漁船計	7,929	5,705,623	7,772	5,326,147	12,195	6,457,012	7,585	5,346,678	7,465	4,878,032
搬入魚計	4,660	2,583,733	9,052	4,665,047	10,465	3,973,285	17,890	8,796,145	10,783	4,408,562
合計	12,589	8,289,356	16,824	9,991,194	22,660	10,430,297	25,475	14,142,823	18,248	9,286,594

東日本大震災発災直後の平成 23 年は、県内の魚市場が被災する中でも、震災から約一か月後の 4 月 17 日に、本市魚市場が水揚げを再開したことにより、他港に水揚げできない漁船が入港したこともあり 100 億円水準を保てた。

平成 24 年は、各漁港の復旧が進み、漁船が元の水揚げ港へ戻る中、大豊漁であったクサカリツボダイを中心とした貨物自動車搬入に支えられ、141 億円の水揚げであったが、25 年は一転、ツボダイが不漁となり約 93 億の水揚げとなっている。

今年度は、新魚市場の整備を進める一方で、魚市場施設の維持管理の採算ベースとなる 100 億円の水揚げ額の維持を目指して取り組んでいく。

## 平成 26 年 1 月～3 月までの水揚げ状況 (単位 数量：トン 金額：千円 比較：%)

	平成26年		平成25年		比較	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
漁船計	882	516,832	1,167	656,142	75.58	78.77
搬入魚計	1,460	727,454	379	341,239	385.22	213.18
合計	2,342	1,244,286	1,546	997,381	151.49	124.76

## 2. 新魚市場整備をはじめとする事業の取り組み状況

## (1) 新魚市場整備事業

水産庁の補助事業により「高度衛生管理型荷さばき所」機能を有した魚市場として建替える。衛生管理の高度化により「三陸塩竈ひがしもの」をはじめとする水揚げされる魚の付加価値を高めるとともに、背後の水産加工業への加工原料の供給を目指す。現在、荷さばき所 B 棟を 26 年度内の完成を目指し、施工中。

## (2) 水産業共同利用施設復興整備事業

復興交付金事業として本市水産業の復興に資する施設の整備を行う事業で、冷凍冷蔵庫等の鮮度保持施設や水産加工施設、水産廃棄物処理施設の拡充が図られる。9 社が事業採択され、平成 25 年度末までに 4 社が完成、稼働中。26 年度に 4 社が、27 年度に 1 社が完成予定。

## (3) 遠洋底曳網漁業水揚げに対する補助 平成 26 年度～

本市魚市場の水揚げを大きく支える遠洋底曳網漁業は、塩釜漁港の水深が浅いため、仙台港で水揚げした魚を、貨物自動車で魚市場へ運搬し、選別、販売を行っており、運送費は生産者負担となっている。燃油高が続く中、水揚げの安定確保を図るため、運送費の一部を支援する目的で、水揚げ金額の 1000 分の 0.5 を補助するもの。

## (4) その他の事業

漁船誘致策として、平成 26 年 3 月下旬、宮崎県及び大分県のマグロ延縄漁船の生産者組合を訪問し、意見交換を実施。今後も他地区あるいは他の漁業種について実施予定。